

北里大学病院・北里大学東病院(旧)を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (受付番号/承認番号)	通過障害を有する臨床病期 IVb 食道癌に対する化学放射線療法が与える通過障害改善と予後改善を検討した単施設後ろ向き観察研究(B21-162)
当院の研究責任者 (所属・職位)	北里大学医学部消化器内科学 <u>草野 央(教授)</u>
他の研究機関および各施設の研究責任者	なし
本研究の概要・背景・目的	<p>本研究の概要は、食道癌によって通過障害を有する患者さんを対象として、化学放射線療法が通過障害と予後の改善にどれほど貢献しているか、後ろ向きにデータを抽出して検討するものです。</p> <p>背景として、通過障害を伴う臨床病期 b 食道癌に対する治療は、化学放射線療法、放射線療法が行なわれます。治療により通過障害は 35%の患者さんに改善を認め、平均的な生存期間は約 7 ヶ月と報告されています。しかしながら、通過障害の改善がどれほど予後の改善に貢献しているかについてはあまり報告がありません。</p> <p>そこで今回、化学放射線療法が臨床病期 b 食道癌による通過障害と予後の改善にどれほど貢献しているか、検討することとしました。</p>
調査データ 該当期間	2009 年 11 月 1 日から 2021 年 9 月 30 日まで。
対象となる患者さま	上記期間内に当院で臨床病期 b 食道癌に対して化学放射線療法が施行された方が対象となります。
研究の方法 (使用する試料等)	<p>利用する情報</p> <p>2009 年 11 月 1 日から 2021 年 9 月 30 日までの電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します。</p>
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究の資金源に関しては、 <u>学内研究費(消化器内科学一般研究費)</u> を使用いたします。本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。</p>

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。

問い合わせ先

所属・職位:北里大学医学部消化器内科学 病棟医

担当者:坂部 勇太(サカベ ユウタ)

電話:042-778-8111

問い合わせ先

所属・職位:北里大学医学部消化器内科学 助教

担当者:古江 康明(フルエ ヤスアキ)

電話:042-778-8111

備考	なし
----	----